

- 13 実際に、先生の話やみんなの発表を熱心に聞けることができますか。
 1. できる (38.2)
 2. 少しむずかしい(38.7)
 3. たいへんむずかしい (7.1)
- 14 勉強は言われなくとも、自ら進んでしなければならぬと思いますか。
 1. 強くそう思う (19.0)
 2. 思う (72.5)
 3. あまり思わない (8.6)
- 15 実際に、言われなくとも自分から進んで勉強していますか。
 1. している (13.4)
 2. あまり進んではいない(54.6)
 3. ほとんどしない (32.0)
- 16 これからも、しっかり勉強をやらなければならぬと思いますか。
 1. 強くそう思う (2.6)
 2. 思う (61.3)
 3. あまり思わない(46.1)
- 17 実際に、しっかり勉強をやっていますか。
 1. やっています(7.6)
 2. あまり自信がない(78.1)
 3. 少し自信がない(14.5)
- 18 勉強にかぎらず、学校生活を真剣に送ってきたいと思いませんか。
 1. 強く思う (8.3)
 2. 思う (74.3)
 3. 真剣にやる気がしない(16.4)
- 19 実際に、学校生活を真剣に送っていますか。
 1. 送っている (13.8)
 2. 真剣とは思えない(78.1)
 3. 真剣にできない (8.2)
- 20 いままでの授業の進みかあいはどうですか。
 1. もう少し早く進めてほしい(2.2)
 2. いままでどおりよい (73.6)
 3. もっとゆっくり進めほしい(24.2)
- 21 ノートはきちんと使っていますか。
 1. 使っている (53.2)
 2. 使いたくない(38.7)
 3. あまりとらない(8.2)
- 22 学校に教科書を置いていくことがありますか。
 1. 毎日のように置いていく (68.0)
 2. とときどき置いていくことがある(27.1)
 3. ほとんどない (4.8)
- 23 努力すれば、現在の成績よりも良くなると思いますか。
 1. 良くなると思う (79.6)
 2. 同じかと思う (17.5)
 3. 努力する気がしない(3.0)
- 24 学校へ行きたくないと思うことがありますか。
 1. 毎日のように思っている (30.1)
 2. とときどきある (51.7)
 3. あまりない (18.2)
- 25 自分の将来を考えて、不安になることがありますか。
 1. とときどきある (71.4)
 2. あまりない (20.8)
 3. ない (7.9)
- 26 たとえ、ゆきまっても自分の力で、それを切り切っている自信がありますか。
 1. 自信がある (13.0)
 2. だいたい自信がある(58.7)
 3. 自信がない (28.3)
- 27 家の人はあなたに期待していますか。
 1. 期待すると思う (8.8)
 2. 期待している (55.6)
 3. 期待していない (36.1)
- 28 家の人はあなたの気持ちを理解してくれませんか。
 1. 理解してくれる (36.1)
 2. あまり理解してくれない(52.0)
 3. 少しも理解してくれない(11.9)
- 29 家出しようと思ったことがありますか。
 1. あまり考えたことはない (56.5)
 2. 考えたことがある (39.8)
 3. 本気で考えている (3.7)
- 30 あなたは自分の進路と現在の学習状況について、どう考えますか。
 1. 計画的に勉強していると思う (3.0)
 2. 考えているが実行が伴わない (71.4)
 3. 案外考えていない (26.6)
- 31 現在の学習成績から見て、今後の進路や卒業について不安になることがありますか。
 1. とても不安である (24.5)
 2. 少し不安である (58.1)
 3. 不安ではない (17.3)
- 32 いま、学校生活で、最も悩んでいることは何ですか。(3つまで○をつけて下さい)
 1. ほとんどない (4.5)
 2. 成績が思うように伸びない(36.6)
 3. 基礎学力が不足している (38.7)
 4. 勉強のしかたがわからない(24.9)
 5. 集中力がない (37.5)
 6. 勉強と部活動の両立がむずかしい(5.6)
 7. 学校生活に興味がない(36.1)
 8. 毎日が目的なく不安である (32.3)
 9. 家庭の事情に心配がある(5.6)
 10. 教室の環境に気がむく (18.2)
 11. その他 (5.2)
- 33 最後に、あなたは本校で輝いっばいがんばっている意思がありますか。
 1. 意思は強い (9.7)
 2. 何とかがんばっていく (22.2)
 3. 学校をやめようと思っている (8.2)

別活動に関するアンケートの結果にも見られ意欲的な姿はあまりない。この結果を参考にしながら、各教科毎に更にアンケートや学力診断テストなどを実施し、生徒の「つまづき」はどこにあるのかを把握し、「わかる授業」、「興味ある授業」を展開し、生徒の「やる気」を喚起するための方策をさぐるのがこの研究の目標と becoming.

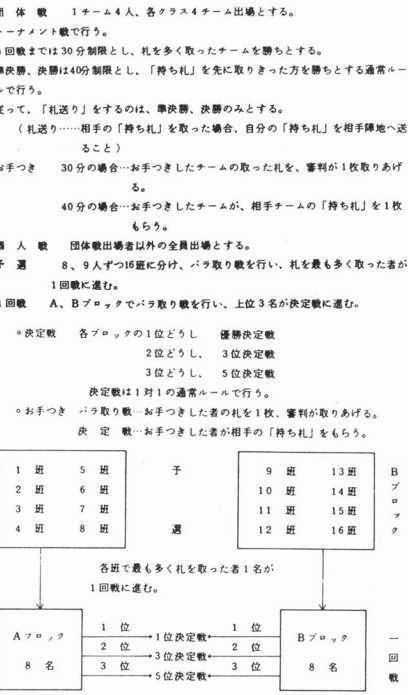
5. 各教科における研究実践

前述の結果をふまえ、各教科毎に実践を進めたわけであるが、共通して言えることは、各教科ともに、まず実態調査をして、従来の授業のあり方を反省し、その中から「わかる授業」のあり方などを探っていることである。以下は、各教科で実践した活動の主なものであるが、紙面の都合で説明は少なくして資料の一部を掲載する。

(1) 国語科

① 百人一首カルタ大会

百人一首大会を企画することにより、古典学習への関心と意欲を高め、更にHR活動を活性化することを図った実践で左表はその大会の持ち方の一部である。



(2) 結果についての考察

実態調査の結果から、次のような生徒像が浮かんでくる。

本校を希望していなかった(70%)が、高校だけは卒業しなければならぬと思い(57%)通学しているものの、学校には教科書を置いていき(68%)、家庭ではほとんど勉強せず(61%)、結局、授業内容がわからず(37%)、基礎力の不足を感じ(34%)、勉強の仕方がわからない(29%)で、勉強の必要性や努力の必要性を感じながら実行が伴わず(71%)、自信のない(78%)毎日を送っている。この傾向は特